

おおぞら 議会だより

CONTENTS

6月定例会・7月臨時会	2
議員3名が一般質問	4
①上地議員 認知症の取り組みについて ほか	
②岩原議員 医療、介護施設等における人材確保について ほか	
③鈴木議員 空き家対策と地域の環境整備について	
大空町PR活動	10
所管事務調査	12



大空町20年記念事業で北海道イエロースターズとバレーボールを楽しみました。



OZORA
GIKAI DAYORI
[発行日]
令和7年(2025年)8月29日





女満別ゴルフコースの存続を求める決議について可決



YouTube の QR コードはこちら

要望意見書・決議

女満別ゴルフ場が今シーズンで運営を終了し、大規模太陽光発電所として再開発するという計画提示が所有する企業から大空町にあつたとの報告を6月18日に受けました。大空町議会は、女満別ゴルフ場が地域経済、スポーツを通じた地域間交流等で大空町に多大な貢献度がある施設との認識の下、町議会臨時会の招集を求め、女満別ゴルフ場存続に関する要望意見書と議会決議を議決しました。

要望意見書は、「大空町内ゴルフ場の再生可能エネルギー開発にかかる要望意見書」で、内閣総理大臣、地方創生担当大臣、経済産業大臣、総務大臣、環境大臣、国土交通大臣、北海道知事宛に提出しました。

更に「女満別ゴルフコースの存続を求める決議」として、下記のとおり大空町議会の意見を表明しました。

女満別ゴルフコースの存続を求める決議

女満別ゴルフコースは、開業までに16年の歳月を費やし、地域の悲願として平成13年8月にオープンしました。オープン以降も、地域の雇用、観光、経済、町の発展に大きく貢献する施設として、地域とともに歩んできたゴルフ場です。

このように長きにわたって地域に根差してきた女満別ゴルフコースが、存続の危機に立たされております。地域と共に歩み、町内のみならず、近隣地域や道内外者からも愛されて営業を続けている施設の再生可能エネルギー発電事業への転換は、地域の経済や観光にとって大きな損失であり、企業利益優先で開発が強行されることはあってはなりません。

また、近年、施設管理が不適切な事業者により、各地でメガソーラーによる火災が相次いでいることから、今後、いつどこで同じ事故が起こらないとも限りません。これから10年先以降、製品寿命を迎える太陽光パネルの大量廃棄の問題もあります。

さらには、現在の徹底した芝管理からパネルを敷き詰めただけの無人管理となれば、土地の保水力が低下し水害や土砂災害のリスクが高まることが想定され、災害時には住民生活や地域産業に大きな影響を及ぼす可能性もあります。

当町は、オホーツク地方の空の玄関口である女満別空港を有し、女満別ゴルフコースは、地域経済・地域間交流を支える重要な施設です。

よって、次のとおり女満別ゴルフコースの存続を求めるとともに、事業計画の中止を強く求めます。

1. 女満別ゴルフコースは、長きに渡る地域の悲願であり、雇用、観光、経済、町の発展に不可欠な存在である。大空町及びオホーツク地域の活力が失われないよう、現状の運営体制のまま存続されることを強く求めます。
2. 地域を衰退させ、地方創生を阻害する可能性のある、土地等の取得や、開発行為に断固反対する。
3. 地域の暮らしや自然風土を無視した、地域が望まない土地利用等に断固反対する。



存続の危機に立たされている女満別ゴルフコース

令和7年
6月定例会
6月18日～19日

一般会計予算に
8,181万円を増額、
総額は94億5,663万円に

YouTube の QR コードはこちら



定例会

物品の購入

ロータリ除雪車、水道メーター器を購入することについて、可決しました。



購入予定のロータリ除雪車（同型）

財産の取得

職員業務用端末50台、女満別小中学校校務用端末機器一式、東藻琴小中学校校務用端末機器一式を取得することについて、可決しました。

条例一部改正

大空町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について可決しました。

工事請負契約の締結

女満別農業構造改善センター大規模改修工事（建築主体・機械設備・電気設備）、橋梁補修工事（豊郷橋）、総合支所冷房設備等設置工事の工事請負契約について、可決しました。



女満別農業構造改善センター（ひまわり温泉）

辺地に係る公共的施設の総合整備計画

東藻琴芝桜公園の大規模改修事業を進めるため、財政的に有利な辺地事業債を活用する総合整備計画を可決しました。この計画は、総務大臣宛に提出されます。

「辺地対策事業債」とは
山間地や離島など地理的条件から他の地域と比較して、生活条件等が厳しい地域の振興を図るための公共的施設整備に充てる地方債。償還金の8割が普通交付税で措置されます。



東藻琴芝桜公園

要望意見書

「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書」「国内農業を犠牲としない日米関税交渉など」を求める要望意見書について可決しました。

補正予算（歳出）の主な内訳

事業名	補正額
災害対策事務費（防災倉庫建設工事・トラック等）	2,618万円
定額減税補正事業（定額減税補正給付金等）	2,267万円
河川防災ステーション管理費（指定管理委託料等）	1,090万円
女満別中学校管理費（体育館床金具更新工事）	758万円
大空高等学校管理費（ノートパソコン）	500万円

令和7年度一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

9月定例会は、
9月11日(木)から
開かれる予定です。

大空町議会
YouTube



鳥獣被害防止の取り組みについて

鳥獣被害が拡大しているが 町長▶関係団体と連携し、取り組む

町長 有害鳥獣による農業被害については、鳥獣の生息数増加、生息域の拡大に伴い、被害が拡大しており、とりわけ農業者に深刻な影響を及ぼしている状況です。狩猟従事者は令和6年度は32名で平均年齢は54.9歳です。近隣市町村の有害鳥獣駆除従事者数と比較しても、少ないわけではないものの、熟練した狩猟従事者が育つには時間を要することから、将来的なことを考えると楽観視はできないものと認識しているところです。

産業課 参事 大空町における捕獲頭数及び農業被害額については、令和6

問 全国的に野生鳥獣による農林水産業の被害が深刻化しています。農林水産省の調査では、2023年度の野生鳥獣による農作物被害額が163億円、北海道ではエゾシカによる被害が、69億円まで増えています。大空町の鳥獣被害防止の取組の現状はどのようなものか伺う。

年度は、エゾシカ捕獲頭数342頭とヒグマ11頭で、被害金額は4,077万円、キツネ50頭で37万円、カラス61羽で2万2千円、合計被害金額4,188万円です。

町長 令和6年度に初めて女満別地区で2頭が捕獲されており、その際は、町から猟友会ハンターに駆除を許可して捕獲に乗り出しましたが、その後、現在に至るまで出没及び被害の報告はありません。まず、町の広報やホームページ等による町民に向けたアライグマ情報の呼びかけを行っています。

町長 技術継承の部分については、北海道春期管理捕獲を行っています。これによって、熟練した捕獲従事者に付き添って、新規の経験の浅いハンターと一緒に同行することで実践的な訓練として適しています。猟友会と協議しながら、しっかりと協力していきたいと考えています。



近年増えているエゾシカ

町長 令和6年度に初めて女満別地区で2頭が捕獲されており、その際は、町から猟友会ハンターに駆除を許可して捕獲に乗り出しましたが、その後、現在に至るまで出没及び被害の報告はありません。まず、町の広報やホームページ等による町民に向けたアライグマ情報の呼びかけを行っています。

町長 技術継承の部分については、北海道春期管理捕獲を行っています。これによって、熟練した捕獲従事者に付き添って、新規の経験の浅いハンターと一緒に同行することで実践的な訓練として適しています。猟友会と協議しながら、しっかりと協力していきたいと考えています。

北海道と連携して協働できよう、町から説明していきたいと思っています。国においても、熊類の対策を支援するため、鳥獣被害防止総合対策交付金や指定管理鳥獣対策事業交付金などが拡充されていますが、その活用にあたっては、ゾーニング管理を前提とすることが要綱に定められることとなっており、今後の熊類の対策において、ゾーニング管理は必要であり、本年度中にゾーニング管理を進めていく考えです。

認知症の取り組みについて

う え ち ふ み た か
上地 史隆 議員



▶ 上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

キャラバンメイトとして認知症の理解が社会全体で進むことを期待しています。また、罌猟免許を保持するものとして鳥獣による被害が拡大しないように今後も取り組んでいきたいと思っています。

町長 介護保険の認知症高齢者の日常生活自立度という指標を使って調査把握しており、令和7年4月1日現在で、日常生活に支障が生じている方は279人います。町の取り組みについては、脳刺激訓練教室を5か所、認知症カフェを3か所

問 2024年1月1日に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が施行されました。この法律では、認知症の方が尊厳と希望を持つて暮らせるようにするため、認知症施策の推進に関わる国や自治体の責務を規定し、認知症の方の社会参加機会の確保、医療や福祉サービスの充実、接遇・処遇に関する事業者の役割なども盛り込んでおり、全国の自治体でも取り組みがなされています。大空町の現状はどのようなものか伺う。

問 住民の方の理解が進んでいないと考えます。認知症総合支援

町長 この事業は、認知症が疑われる初期状態の方や御家族に対して、町の保健師が訪問し、適切な介護保険サービスに結びついていない場合等に、認知症サポート医と連携して、集中的に支援を行っていくものです。また、認知症の相談や治療、介護サービス利用などに円滑に繋がることのできるよう、相談先や医療機関、介護サービス、地域の見守り、家族への支援、住まいなどのカテゴリーごとに一目で分かるように、フロー図化した認知症ガイドを作成して、認知症サポート養成講座や健康教育の機会に配布するとともに、町のホームページに掲載しています。

町長 この事業は、認知症が疑われる初期状態の方や御家族に対して、町の保健師が訪問し、適切な介護保険サービスに結びついていない場合等に、認知症サポート医と連携して、集中的に支援を行っていくものです。また、認知症の相談や治療、介護サービス利用などに円滑に繋がることのできるよう、相談先や医療機関、介護サービス、地域の見守り、家族への支援、住まいなどのカテゴリーごとに一目で分かるように、フロー図化した認知症ガイドを作成して、認知症サポート養成講座や健康教育の機会に配布するとともに、町のホームページに掲載しています。



9月20日、21日上映会を開催

問 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に全市町村でチームオレンジを25年度に発足するところがあるが、どのように発足するのか伺う。また、認知症基本法の中で、認知症の理解を促進する趣旨にふさわしい事業の推奨に自治体も務めるとあるが。

町長 今年度チームオレンジを結成し、地域全体で認知症の方や御家族を支援する仕組みとすることを構築したいと考えています。この仕組みは、認知症の養成講座を受けた延べ1,480人を超える認知症サポーター、さらにはステップアップ講座を修了したサポーターでチームオレンジを構成し、自治会や商店、医療機関、福祉事業所と連携し、認知症の方や御家族もチームの一員として互いに支えることができると考えています。9月23日に開催いたします。健康福祉まつりで結成式を行い、正式に発足させたいと考えています。それに先駆けて、認知症理解に向けた映画「オレンジ・ランプ」の上映会を開催し、認知症になっても安心して暮らしていける町となるように取り組んでいきたいと考えています。

認知症の理解促進の取り組みは 町長▶チームオレンジの発足や上映会を企画

さらに、認知症の方が行方不明になったときに備えてSNSネットワークがあり、いずれの事業も、地域包括支援センターにお気軽に御相談頂くことを周知しています。

さらに、認知症の方が行方不明になったときに備えてSNSネットワークがあり、いずれの事業も、地域包括支援センターにお気軽に御相談頂くことを周知しています。

特別養護老人ホームの合併について

介護体制の統合や施設の再編により効率化を検討すべき

町長▶両社会福祉法人の意向を尊重し、町は依頼があれば改めて検討

町長 特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑、東藻琴福寿苑は、それぞれ社会福祉法人が行っていますが、これまで幾度も合併の調整において、町が橋渡し役を担った経緯があります。町には独立した社会福祉法人の合併を強制する権限はなく、過去の合併協議では、両法人の意向により実現に至りませんでした。当時比べて、今は物価や人件費の高騰、逆に介護給付費収入の抑制の影響で収支赤字が発生するなど、非常に厳しい経営環境下にあるものと認識しています。

問 大空町には二か所の特養施設が存在します。過去において合併の意向もあつたと聞いていますが、町は合併20年が経ち、今後の人口減少や介護職人材の確保に鑑みると、現在の2法人体制のままでは持続可能性が懸念されます。法人合併や施設再編も含め、介護体制の統合・効率化を検討すべきと考えますが、町長の見解を伺う。

町長 特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑、東藻琴福寿苑は、それぞれ社会福祉法人が行っていますが、これまで幾度も合併の調整において、町が橋渡し役を担った上で、統合あるいは効率化を図られるよう検討されるべきものであると考えます。

問 検討に際し町としてどのような支援策や調整役割を担う考えが伺う。



女満別ドリーム苑



東藻琴福寿苑

問 新たな地域福祉計画は、来年から始まり、二つの法人が力を合わせているものではないでしょうか。国は、介護事業者の合併・事業譲渡等に関する改定により、手順を明確化したほか、介護施設、介護事業所の共同化や大規模化によって、人材確保や物品の一括調達、共同利用などの経営改善を図り、地域のサービスを確保することにつながることを推進しています。町としては、要介護認定者がピークを迎える2040年を見据え、介護サービスの維持・確保、人財確保の問題も常に対応しながら、かつ、経営改善に向けた検討を行う上で、統合あるいは効率化を図られるよう検討されるべきものであると考えます。

町長 両地区にある、社会福祉法人、特別養護老人ホーム、在宅サービス、これらをこれからも維持していかなくてはならないというのとは同じ思いです。お互いの経営基盤を維持、強化していくためには、どういったことが必要なのか、それぞれの法人がしっかりと考えていただいて、正式な依頼があった際には、町としても全力で調整に当たり、良い方向に町の介護事業が進み、地域包括ケアシステムをしっかりと確立できるように、これからも努力します。

問 人材確保を図る上で、移住定住施策との連携や、専門学校、大学等の教育機関との連携による人材育成も検討すべきと考えます。特に、北見医師会の看護専門学校が、今年度募集停止、令和10年閉校となります。看護師育成部分が、北見



町内にある医療、介護施設等における人材確保について

いわはら 岩原 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

町の福祉サービスが将来にわたって持続可能なものとなるためにも、今後も町が一定の役割を果たすべきであるとし、地域住民や施設利用者の安心に資する体制づくりを進めるよう質問しました。

町長 法律に基づき設立された法人であり、町が関与できる部分に限りはあるが、町から支援を行っている観点から、人材不足による医療、介護サービスの減退につながらないためにも、地域医療懇談会を年1回開催し、女満別中央病院の運営状況と、様々な課題について共有し、町民の意見を取り入れて改善に向けて検討しており、その中では、夜勤ができる看護師の不足により、勤務の交代編成が難しくなっていることなどの課題を把握しているところです。残念ながら、それを抜本的に解消する対策は見いだせていないのが現状であり、町として、町民の意見を取り入れて改善に向けて検討しており、その中では、夜勤ができる看護師の不足により、勤務の交代編成が難しくなっていることなどの課題を把握しているところです。

問 女満別中央病院や、特別養護老人ホームなど、町民にとって欠かせない医療・介護施設において、看護師や介護職員などの人材確保の現状について伺う。

町長 この課題に対して、具体的にどのような支援策や人材誘致の取組を行っているのか。さらに、国や北海道による助成制度の活用、これまでの実績や今後の方針があれば伺う。

町長 町の支援策については、医療・介護人材確保事業として事業者に対する補助を行っている。事業の開始当初は就業した従業者に直接補助する形でしたが、令和4年度から、事業者が負担している人材確保の経費に

問 人材確保を図る上で、移住定住施策との連携や、専門学校、大学等の教育機関との連携による人材育成も検討すべきと考えます。特に、北見医師会の看護専門学校が、今年度募集停止、令和10年閉校となります。看護師育成部分が、北見

補助する形に見直しを行いました。昨今は応募がないため、紹介事業所を利用することにより、多額の費用がかかる課題があり、外国人材は、特にこの紹介事業所を利用しなければ採用につながらないという実情があります。この実情に対応するため、事業者に対する補助金の見直しをしています。また、事業者が負担し、資格取得にかかった費用を対象とする人材育成のメニューもあるところであり、事業、単独事業です。



外国人職員による介護支援状況

町長 医療・介護人材確保事業補助金は、令和4年度に開始し、3年ごとに見直し、成果実績も踏まえて確認し、令和7年度から見直しを行い継続しています。3年目に当たる令和6年度の見直しでは、成果実績として病院、各施設

の看護大学一本になると、オホーツク地域全体の看護師や介護士の養成力の後退を意味します。町の対策を伺う。

へ随時の求人採用を行う際に、事業者の経費負担を軽減できる補助金として、外国人材の確保に配慮し、初年度に増額するなどの対応を行いました。資格を取得する養成学校での学費相当を補助・貸付けし、道内の病院や施設に何年間か勤務頂く場合に返還免除という仕組みは、現在は北海道、北海道社会福祉協議会、あるいは他の自治体で行っているものと、認識しております。学費の貸付事業を検討する場合は、その必要性を踏まえて、他自治体の先進的な取組を研究し、適切な支援を行えるように努めます。

空き家対策の強化充実を

町長▶空き家等対策協議会設置を検討

安全安心なまちづくりを進めるためには、空き家対策の充実が喫緊の課題です。

空き家対策と地域の環境整備について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。



問

空き家が年々増加しており、今後さらに増加が見込まれます。平成27年施行の「空家法」や令和5年の法改正を踏まえ、空き家の活用や適切な管理の推進が求められています。

空き家バンクや解体撤去補助事業等空き家対策の実施状況について伺う。

町長

空き家対策は、町としても深刻に受け止めています。長期間の空き家、空き地放置により近隣への影響も懸念されます。庁内横断的な視点を持つて協議をしながらはならないと考えています。

まちづくり推進室参事

令和7年春に職員の目視調査を実施し、空き家と思われる物件は計93件（女満別53件、東藻琴40件）と把握。そのうち空き家バンク登録は計21件（同15件・6件）です。

住民課長

平成26年度からの令和6年度までに122件（危険廃屋73件、その他49件）に実施。今年度は9件の申請（うち危険廃屋7件）。補助内容は危険廃屋が工事費の1/2（上限50万円）、その他は1/3（上限30万円）です。

問

令和5年の空家法改正を受けた町の空き家対策計画の見直しと現行施策の点検について伺う。

町長

令和2年度に「空き家等対策検討会議」を設置し、庁内で情報共有を行っていますが、具体的施策の協議には至っていません。今年度は令和2年策定の空家等対策計画を、令和5年の改正空家法を踏まえ更新予定です。

問

中間管理住宅や企業連携による空き家流通促進事業など、先進事例を参考にした新たな空き家活用策を検討しているかどうか。

町長

令和5年度には、国交省の空き家対策モデル事業に参画。町の情報と空き家情報を統合し、活用促進のため広報に力を入れています。

問

空き家の現状を把握するには、目視調査に加え、自治会など地域との連携や庁内の情報共有が不可欠です。現行の空家等対策計画では、調査や指導の基準が明確でなく、改善が必要ではないかと考えます。

町長

現時点では目視調査や空き家バンク登録で対応していますが、「空き家」の基準設定は内部で検討すべき課題と認識しています。

問

高齢単身・高齢夫婦世帯が町の3割近くを占め、今後空き家予備軍が増える見込まれます。空き家の活用や管理不全空き家、特定空き家にならない対策の検討が急務です。

また、解体撤去補助事業は11年目となります。近年は、燃料費や労務費の高騰で事業費が増加しています。今後の補助内容の拡充や事業の継続方針について伺う。

町長

空き家は個人財産であり、まずは空き家バンクへの登録と活用促進を優先します。解体補助の拡充については、近隣状況を踏まえて検討しますが、単なる解体よりも、解体後の建て替え等への支援を含めたメリハリのある施策が必要と考えます。

問

廃屋等の分類（危険・その他）の判断基準の見直しや明確化が必要と考えます。特に所有者が町外在住で対応が遅れる事例も多く、長期放置を防ぐための庁内

連携と新たな基準の設定等、取り組みの強化を望みます。

町長

長期放置廃屋等への個別の対応等空き家対策を円滑に進めるため、町民有識者の意見を聞く協議会設置と条例化も含め検討します。空き家の増加は確実という現況を踏まえ、空き家の利活用について地域の皆さんの理解の下、計画性をもって進めていきます。

○中間管理住宅

町が空き家を借上げ改修後、移住者等住まいを必要とする人へ賃貸管理する方法で、空き家対策と移住者誘致事業を組み合わせる事業。



空き家バンク



国土交通省
空き家対策
ってなに？



北海道町村議会議員研修会に参加

7月8日、札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。西南学院大学 法学部教授 勢一 智子 氏による「地方議会における議員の多彩化に向けてー地域社会の「鏡」としての議会を考えるー」、人口戦略会議 副議長 増田 寛也 氏による「人口減少社会を生き抜くために」を演目とした講演があり、全議員が参加し、受講しました。



勢一 智子 氏



増田 寛也 氏

グランピング施設を視察

7月10日、東藻琴芝桜公園大規模改修の参考とするため、グランピングリゾート フェーリエンドルフ（中札内村）、十勝ワッカの森キャンプ場（清水町）のグランピング施設を視察しました。



グランピングリゾート フェーリエンドルフ



十勝ワッカの森キャンプ場

大空町20年記念女性模擬議会を開催します

まちづくりについて意見や提案をいただき、町政に反映させることを目的に、大空町20年記念事業の一環として「大空町20年記念女性模擬議会」を開催します。

町民みなさんのお越しをお待ちしています！

○開催日時

令和7年10月25日(土) 午前10時から

○開催場所

議事堂文化ホール



大空町 10 年記念女性模擬議会の様子

オホーツク大空町議会 P R 活動 i n チカホ

7月9日、札幌駅前通地下広場 憩いの空間にて、大空町の P R 活動のため、大空町の特産品（長いも、チーズプリン、ホットケーキミックス、うどん、そうめん、パスタ等）の配付を行いました。

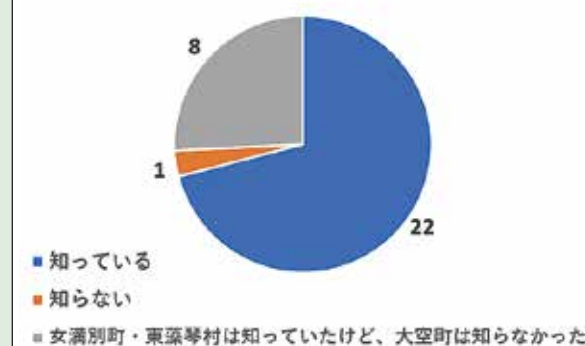
特産品の提供にご協力いただきました J A オホーツク網走様、J A めまんべつ様、めまんべつ産業開発公社様ありがとうございました。



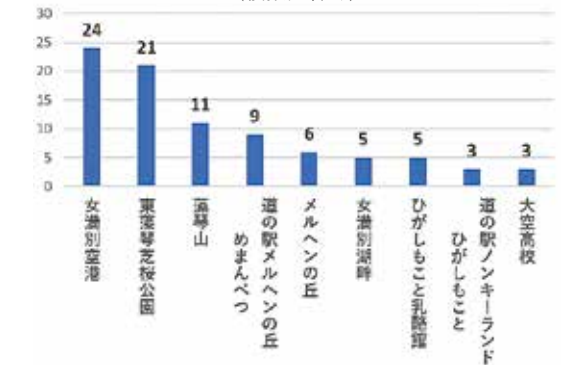
アンケートを実施しました

特産品の配付に併せて、大空町の知名度アップを図るためアンケートを実施しました。
(Webアンケート 配布200人中、回答者数31名 20代～70代の男性9名・女性22名)

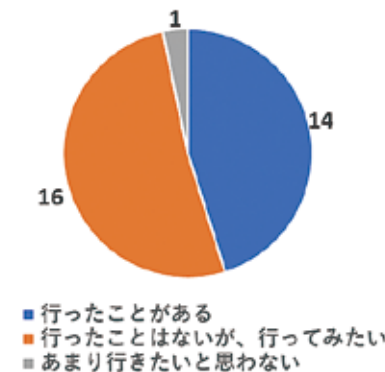
大空町をご存じですか？



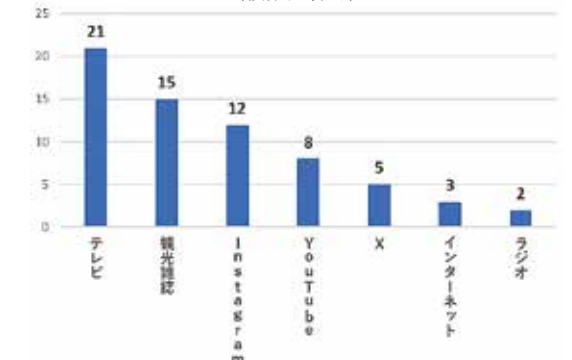
大空町の知っているものを教えてください (複数回答可)



大空町に行きたいと思いますか？



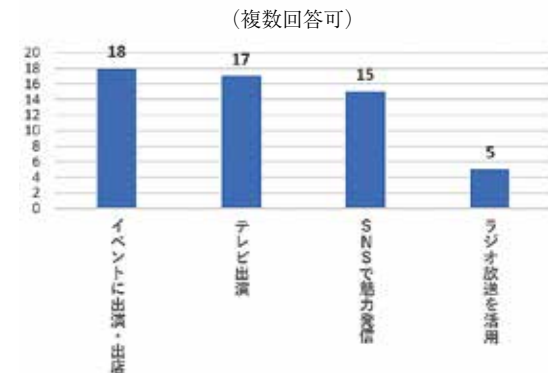
観光地に行くとき、何からの情報で決めますか？ (複数回答可)



今回のイベントについて



大空町の知名度を上げるために、何をしたら良いですか？ (複数回答可)



大空町への意見、要望等

- ・父親の実家から近いのでいつか行ってみたい。(40代・男性)
- ・特産品やパンフレット、とても嬉しかった。準備して頂いた方々、配って頂いた方々、ありがとうございました。大空町のガイドブックも見やすく、写真も楽しませていただいた。(50代・女性)
- ・大空高校のパンフレットを拝見して、魅力的な学校だと感じた。大空町は通過したことしかなかったので、今度は滞在してみたい。素敵な特産品を沢山ありがとうございました。(50代・女性・)
- ・イベント開催ありがとうございます。定期的に情報発信する事が大切。(50代・女性)
- ・大空町、名前が良い。大空をイメージできる美味しい食の情報発信を期待している。(60代・男性)
- ・芝桜の美しさには地域の人の努力があるのを知っている。長芋は今日いただきます。(70代以上・女性)
- ・大空という地名は知っていたが、場所が定かではなかった。今回の P R で知る事が出来た。(60代・女性)
- ・名産品や新しい施設等を作って、TVや雑誌の取材で知名度を上げる。(40代・女性)
- ・なめらかプリンとてもおいしかった。パッケージの箱のデザインが地味。パッケージで手に取る人たちが多いと思う。味も大事だが、年齢の高い人たちもパッケージには目を向ける。
- ・キャンプが好きなので湖畔キャンプ場に来年行ってみたいと思った！魅力を知れる良い機会をありがとうございました。(30代・女性)
- ・パンフレットが魅力的でとても行きたいと思った。(40代・女性)
- ・無料で長芋、チーズ、ホットケーキミックスまで頂いて嬉しい。突然だったのでインパクトがあり、大空町を知らなかったの、ネットで調べるキッカケにもなった。いただいた中ではチーズが特に食べるのが楽しみ。配っていたおじさんたちも穏やかな優しい感じで好感が持てた。(50代・男性)
- ・高校の良さをもっとアピールした方が良い。(50代・男性)
- ・ホテルや宿泊の料金が安いといいな。(70代以上・男性)
- ・ガイドブックで大空町のことを知ることができた。こんな素敵な町だとは知らなかったのが驚いた。是非行ってみたい。美味しい商品もいただきありがとうございました。(50代・女性)
- ・冬はインバウンドの取り込み、道内からは花火大会など、季節ごとのイベント等の開催。(60代・女性)
- ・キャラクター、フードなど。チカホにキャラクターがいたらインパクトされたかな。(60代・女性)
- ・芝桜の時期以外にも、もっと心惹かれるイベント等のアピールをお願いします。(50代・女性)
- ・美味しくいただきました。ありがとうございました。(40代・男性)

まちの将来を見据えて

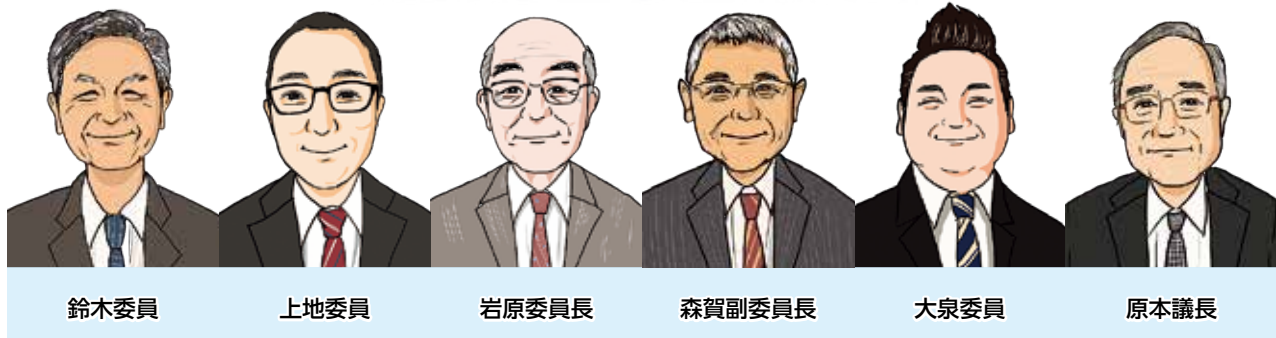
～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管事務調査」を実施しました～



7月16日に産業建設文教常任委員会、7月22日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

総務厚生常任委員会



- ①ふれあいセンターフロックス**
 - ・社会福祉法人東藻琴福祉会が指定管理を受託し、職員8名（正職2名、パート職員6名）で運営されています。
 - ・入浴施設は、公衆浴場法に基づき入浴料等を設定して運営。令和6年度入浴施設利用者は34,020人。
 - ・課題として、開業してから30年を経過し、温泉の湧出量が低下傾向にあり、浴場への給湯を加温する燃料費が燃料価格高騰の高止まりと相まって運営経費が高んでいると現場から説明を受けました。
 - ・温泉井戸の管理については、長期計画に位置付けし検討していく時期を迎えていると感じました。
- ②大空町女満別共同墓地**
 - ・合同納骨塚には令和7年6月30日現在、151体収容されており、墓誌の使用許可は9件、11枚の申し込みがあります。
 - ・墓誌使用料金は11,000円で、大空町に支払い、墓誌を渡され、依頼人で墓誌に記入して持参すると設置していただけます。別途、名前を刻む料金をご依頼主負担との内容を確認しました。
- ③大空高校女満別キャンパス**
 - ・大空町社会福祉協議会 障がい福祉サービス事業所より、令和8年に開設予定の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の説明を受けました。
 - ・現在は新規の職員を採用し、開設準備室を立ち上げており、北海道教育委員会より女満別キャンパスの用途変更の許可が下りた後、必要な改修や備品等の購入を検討していることの説明を受けました。
- ④女満別中央病院**
 - ・基幹病院医療環境等充実事業で整備された医療用画像管理システム、薬の自動分包機、LED照明取替工事を視察しました。
 - ・新しい医療用画像管理システムではクラウド保存で容量制限が増大し、患者データの保存がより多くできるようになり、中央病院で撮ったデータを東藻琴診療所でも確認することが出来るようになりました。
 - ・新しい薬の自動分包機の導入により適正な在庫管理ができるようになり、さらにAIによる投薬管理により操作性が向上しました。
 - ・LED照明の取替工事により1階ホールと廊下は以前より格段に明るくなっていることを確認しました。

産業建設文教常任委員会



- ①東藻琴除雪センター**
 - ・除雪は午前3時から始動し、通学・通勤に間に合うように午前8時頃には通行可能となるよう業務が行われている報告を受けました。
 - ・所有する車両等は、女満別地域が23台、東藻琴地域が16台あり、点検整備状態は良く、備品等も整理整頓されていることが確認できました。
 - ・課題として、役場職員の後継者や特殊技術を要する道路維持・除雪職員（大型特殊免許取得者）の担い手が不足しているという報告を受けました。
- ②網走市導水管と大空町への連絡管布設を予定している接続場所**
 - ・令和12年に網走市導水管との接続供用開始予定の報告を受けました。
 - ・管路接続までの工事費の持分割合予定は、網走市10に対して大空町が1との報告を受けました。
 - ・連絡管接続箇所から昭和浄水場までの距離は約10kmで概算の事業費は約11億円との説明を受けました。
- ③女満別川への排水状況**
 - ・湖南地区二基線排水路維持管理組合により、二基線排水路の草刈、大雨時のポンプ稼働を実施していることが確認できました。
 - ・課題として、受益戸数の減少や高齢化により、ポンプを稼働するための負担が増大し、また大雨時には現状のポンプでは排水能力が不足しているため、維持管理の省力化と排水能力の向上が求められていることの報告がありました。
 - ・施設更新計画として、農村地域防災減災事業により令和11年度～13年度で整備を予定しているとの報告を受けました。
- ④大空高校女満別キャンパス**
 - ・校舎2階の教室(800.0㎡)に郷土資料の展示を予定している説明を受けました。施設は昭和53年建築で47年経過していますが、女満別研修会館、東藻琴ふるさと資料館、山園ふるさとセンターの老朽化や点在している資料の整理・集約化、空き施設の有効活用を図るため、新たに展示・保管できる施設として検討しているとの報告を受けました。

Voice 声

町民のインタビュー



認知症への理解を

ち はな あけ み
知 花 明 美 さん

(キャラバンメイト・認知症介護指導者)
(女満別地区)

○大空町に住まれた理由は？

50年前に結婚を機に住みました。

○大空町のいいところは？

穏やかで緑が一杯なところですよ。

○大空町に取り組んで欲しいこと。

自分も高齢になり、自分が車に乗れなくなったらと考えることがあり、ボランティアで高齢者と接する時にもその問題を感じます。また、子育て支援も充実して欲しいと思います。48年前になりますが、子供が小さい時に預ける場所がなくて、仕事を一時辞めることがあり、経済的にも大変だ

ったので、これからの若い子育て世帯にしっかりと支援して欲しいです。

○これだけは伝えたいことは？

高齢者施設や病院の勤務経験を活かし、何か出来ないかと思い、サポーター養成講座、認知症カフェ、家族会の手伝いをしてきましたが、認知症の理解が進んでいないように感じます。認知症になりたくないと思う人も予防をするためには理解が必要であり、身近に認知症の方がいたら、皆さんと一緒に支援することが出来ればと思います。

なつかしの校舎



大成小中学校

大成小学校は、大正3年4月上女満別分教所設置が許可、5月5日女満別教育所所属上女満別教授所として現在の大成神社付近に設置されました。校舎はすべて地域住民の奉仕により建設され、学校の規模は、開拓面積が広く入植者が増加し開校後数年のうちに女満別小学校について二番目の生徒数になりました。初代教員は、石垣 幸次郎氏でした。

大正9年に畠山 すへじ氏から学校用地の寄付をうけ、現在地に移転し、上女満別尋常小学校になりました。

昭和11年の学名改称に伴い大成尋常小学校となり、昭和13年には高等科がおかれ、尋常高等小学校になりました。昭和15年に現在の校舎が新築され、昭和22年には中学校も併置、最大児童生徒数が220名を数えた時代もありました。

中学校は、昭和48年に女満別中学校と統合になり、小学校は、平成14年2月閉校式、平成14年4月1日に女満別小学校と統合しました。

小学校の卒業児童数は、1,062名。中学校の卒業生徒数は、539名でした。

校歌の作詞は、大塚 盈氏、作曲は、根上 義雄氏です。歌詞に「かたみに残る 桜木の 命あらたに 咲く庭に 磨く真実の美しく ああ校風は ここにはゆ 大成大成 我等励まん」と詠われています。開拓と子弟の教育に情熱をかけた人々の学校への愛着と誇りが込められているように感じられます。

(参考文献：大成自治会開創80周年・大成校開校75年記念誌 拓邦、閉校記念誌 桜木)



パリッとジューシーが自慢 若鶏の半身揚げ 中山商店

営業時間 午前11時～午後6時

定休日 月曜日、火曜日

(月曜が祝日の場合火曜日、水曜日が休日になります)

住所 大空町東藻琴 304 番地

電話 0152-67-5617

完売になり
次第終了

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

連日の猛暑で夏が辛いと感じる毎日ですが、そんな中でも色々な行事が催されています。暑さ対策を講じ関係者の工夫や時間短縮などありながら、実施されている事はありがたいことです。

広報委員会では少しでも多く皆さんに伝え見て頂く写真を撮って載せたいと思い撮影、編集しています。今後も町民の皆さんに見ていただける広報作りを念頭に置いて委員一同協力して発行して参ります！

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いいたします。

